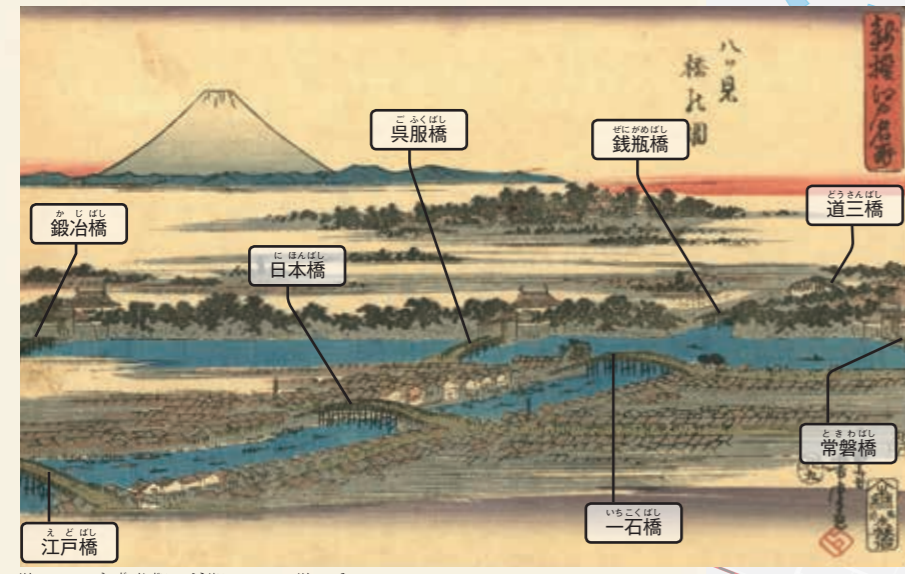


図解 中央区には橋がいっぱいあった

江戸時代、江戸の町には城を中心に縦横にいくつもの水路があり、たくさんの橋がかけられていた。しかし、その後、関東大震災、第二次世界大戦の影響や、高速道路の建設などもあり、大半の水路が埋め立てられ、橋も取りこわされた。明治40年代の中央区には117もの橋があったが、現在の橋の数は40くらいだ。そのなかには、晴海大橋のように2000年代になってからできた新しい橋もある。

関東大震災以前に中央区にあった橋
 今では川や水路が埋め立てられたところにあった橋
 *地図は明治40年代の
 ようすを示しています。



橋のある江戸時代の風景。8つの橋が見える。

昔は橋がかかっていた



●銀座の入り口だった
数寄屋橋①
 1629(寛永6)年にかけられ、明治以降は銀座の入り口として親しまれた。1929(昭和4)年につくられた石の橋は、「君の名は」という人気ドラマの舞台になり、全国的に有名になった。1958(昭和33)年に取りこわされた。

●大根河岸で
にぎわった京橋②
 日本橋と同じ、1603(慶長8)年にかけられたといわれている。橋の近くの川沿いには、大根河岸とよばれた野菜市場があった。1959(昭和34)年に取りこわされたが、橋の親柱は今も残っている。



昔は大根河岸を「だいこ」河岸って呼んでたんだって。



こんなにたくさんあったのね!



じゃぶな橋でよかったね。



川がなくなっても陸橋として残っている橋もあるね。

★印の橋はこの時代にはまだつくられていませんが、右の重要文化財の説明のために示してあります。



●渡しから橋へ③
 銚子橋は1872(明治5)年にはじめて橋がかけられたが、それ以前は渡し船で行き来していた。

明治のすがたのまま



●今あるなかで最も古い常盤橋④
 1877(明治10)年につくられた石橋が今も利用されている。中央区内で最も古い橋だ。現在は補修中で、歩行者専用になっている。

落ちた! 残った!! 橋物語



●祭りの人ごみで
くずれた永代橋⑤
 江戸時代の永代橋は、現在より110m上流にあり、大きな木橋だった。1807(文化4)年8月19日、深川富岡八幡の祭りでたくさんの人々が渡っているときに橋がくずれ落ち、500人以上のぎせい者が出た。

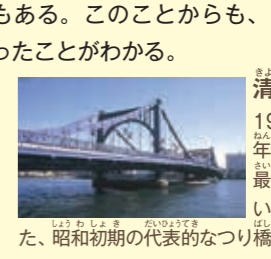
●関東大震災で人々の命を救った新大橋⑥
 関東大震災では、隅田川にかかる橋のほとんどがくずれたり焼失した。しかし、新大橋だけが鉄板がしきつめられていたので残り、そのおかげで助かった人もいた。このことから「お助け橋」とよばれた。



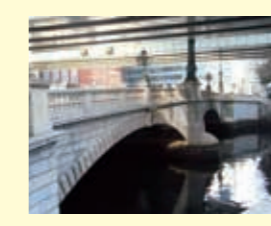
国からも認められた4つの橋



●勝鬨橋⑦
 1940(昭和15)年に、日本ではじめてつくられたはね橋で、大型船が隅田川を通るときには、ハの字に開くように設計された(→p.116)。



●清洲橋⑧
 1928(昭和3)年に、当時の最新技術を用いてつくられた、昭和初期の代表的なつり橋(→p.160)。



●日本橋⑨
 1603(慶長8)年に最初につくられたといわれ、江戸の中心となった橋。現在の橋は1911(明治44)年につくられた(→p.24)。



●永代橋⑤
 現在の橋は、関東大震災後の1926(大正15)年に、当時の新しい鋼材を使ったがんじょうなアーチ橋として完成した。